



1



2



3



4



5



6



7



8

- 1 山折行雄 《恋辺》 1943年 油彩・カンヴァス / 鳥取県立博物館蔵
- 2 辻善堂 《村の女》 1942年 木 / 鳥取県立博物館蔵
- 3 塩谷定好 《初夏の農夫》 1931年 セラチン・シルバー・プリント / 鳥取県立博物館蔵
- 4 小早川秋聲 《舊山河(ふるさと)》 1919年 絹本着色・金泥 / 鳥取県立博物館蔵
- 5 亀田正一 《カフェテラスの二人》 1995年 油彩・カンヴァス / 鳥取県立博物館蔵
- 6 前田寛治 《プルーターニユの女》 1925年 油彩・カンヴァス / 個人蔵
- 7 持田卓人 《童立》 1952年 紙本着色 / 鳥取県立博物館蔵
- 8 中井全三 《休息》 1909年頃 油彩・カンヴァス / 鳥取県立博物館蔵

すわる人と共に過ごす
至福のひととき
これぞ「座・ベスト」。

座・ベスト展

—すわる人の表現 10景—

日常の様々な場面で繰り返される「すわる」という行為。あまりにもありふれた仕草であるため、私たちはことさら気に留めることもありません。しかしすわることをとおして、私たちは何かに没頭したり、休憩したり、あらためて仕事に取り組んだりするのではないのでしょうか。そしてすわることによって意識を変えるのは本人だけではありません。すわる人の存在は、時に和やかな雰囲気醸し出し、時に緊張をときほぐし、周囲の人にも影響を及ぼします。このような「空気」と深い関係をもつためでしょうか。人がすわる時にみせる身振りや表情に多くの作家が関心を抱いてきました。日本画、洋画、彫刻そして写真、たくさんのジャンルを横断して「すわる」人の姿が繰り返し表現されています。

この展覧会では当館が所蔵する「すわる」人についての表現を「かしまる」や「休む」といった10のテーマに沿って紹介します。「すわる」という単純な行為の中に浮かび上がるさまざまな人の表情、いくつもの場の空気に触れていただき、表現された人物と同じように会場でおくつろぎください。

<関連プログラム> ギャラリートーク

内容 担当学芸員と一緒に会場内の作品を鑑賞しながら、「座・ベスト展」を楽しみます。

日時 4月27日(土) 午後2時~3時

対象 小学生以上・一般

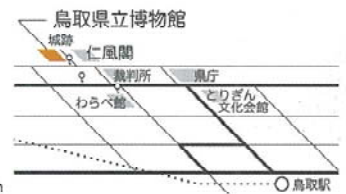
申込 不要

定員 なし ※要観覧料

あなたの1票が
ランキングをつくる
「座・ベスト展」的
「ベスト10」
を開催します!

<交通のご案内>

- JR鳥取駅からバスで
 - ・100円バス「くる梨」(緑コース)
 - ①仁風閣・県立博物館前下車すぐ
 - ・砂丘、湖山、賀露方面行
 - 「西町」下車、約400m
 - ・市内回り岩倉、中河原方面
 - 「わらべ館前」下車、約600m
- 鳥取空港から
 - 鳥取駅連絡バスで「西町」下車、約400m



鳥取県立博物館

TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

T 680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124 Tel.0857-26-8042 Fax.0857-26-8041
http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm E-mail:hakubutsukan@pref.tottori.jp